

皆さまの声 をもとに

要請行動 を続けてまいります。

立憲民主党の二次補正予算要望事項

1. 家賃の救済支援
2. 学生支援
【コロナ困窮学生等支援法案3つの支援】
 - ①授業料の半額免除
 - ②アルバイト減収分最大20万円を緊急支援
 - ③奨学金の返済免除
3. 雇用調整助成金上限額を15,000円までに引き上げ
4. 地方交付金の大幅増額
5. 医療機関への交付金の創設
6. 児童扶養手当の倍額

国会

では 新型コロナウイルス 命と暮らしを守る対策



立憲民主党宮城県連の代表・岡本あき子衆議院議員、代表代行・石垣のりこ参議院議員が党本部に医療充実や助成金・給付金などの支援拡充を政府に求めるよう要請しました。

さらに、野党として次のような支援策も求めています。

- 学生支援(授業料半額免除・アルバイト減収分補填)
- 困窮子ども支援(児童扶養手当分倍額支給)
- 事業者家賃補助(立替払い)
- みなし失業(労働者からの申請で休業手当を)

宮城県議会

では 医療・経済の支援策を要望

宮城県議会では4月27日、所属会派「みやぎ県民の声」として新型コロナウイルスの感染拡大に対する医療体制や経済対策の拡充などの支援策をまとめた緊急要請書を村井嘉浩知事に提出しました。要請内容は医療や教育、経済などの5分野にわたり、県立学校の休校期間延長、ICT(情報通信技術)を活用した家庭学習の環境整備、休業要請に応じた事業所への家賃補助などを求めました。



村井知事へ要望

坂下賢会長(石巻)は経済や医療の問題が深刻化している状況を改善するため、5月の臨時議会に要請内容を反映させるよう村井知事に強く求めました。

仙台市議会

では PCR検査の強化を要望

仙台市議会では4月9日、所属会派「民主フォーラム仙台」として新型コロナウイルス感染症の早期の終息に向けて確実な対策が講じられるよう緊急要請書を郡和子市長に提出しました。要望内容は6項目にわたり、小中学校の休校期間延長と再開時の独自対策の実施、コロナ軽症者の滞在施設の確保、1日当たりの検査件数増に向けた体制強化などを求めました。村上一彦代表(青葉)は最後



郡市長へ要望

に、クラスター感染がいつ発生してもおかしくない状況を踏まえ、休校再延長等の迅速な判断やPCR検査体制の強化などを求めました。

新型コロナ肺炎 対策情報

号外
2020.5

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan
http://cdp-japan.jp/

立憲民主
The Constitutional Democratic Press
りっけん

ひとりで悩まないで下さい。

「支援制度が複雑でわかりにくい。」「収入が減った!どこへ相談したらいいのかわからないのか。」「一律10万円給付金はいつになるのか。」「学生支援制度の議論はどうなっているのか?」先が見通せない不安の声が多く寄せられています。私たちが様々な支援情報をわかりやすくお伝えし、現在「議論」「要望中」の事項をお知らせします。



あなたの街の相談員として 私たちがお手伝いします!

立憲民主党宮城県第1区総支部 総支部長
(青葉区・太白区)

衆議院議員 岡本 あき子

〒982-0011 宮城県仙台市太白区長町4-4-29 ベレオ長町1F

TEL.022-395-4781

FAX.022-395-4782 E-mail.okamotoakiko.sendai@gmail.com

https://okamotoakiko.net



立憲民主党宮城県 第1区総支部



宮城県議会議員
ゆさ みゆき
《青葉区》



仙台市議会議員
佐藤 わか子
《青葉区》



仙台市議会議員
村上 かずひこ
《青葉区》



仙台市議会議員
貞宗 けんじ
《太白区》



幹事
渡辺 ひろふみ